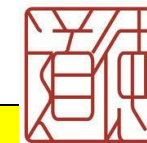




道徳の授業で学び、考える内容は以下の22項目です。さまざまな資料をもとに、以下の各項目について、授業をおこなっていきます。



何を学ぶ？ どう考える？

各学年で道徳の授業が始まりました。2年前から教科化となった道徳ですが、道徳の授業を通して、みなさんはいったい何を学ぶのでしょうか？

私たちは、生活している中で、あらゆることを「判断」し、「行動」しています。『自分の進路について考えるとき』、『AさんからBさんの噂話を聞いたとき』、『自然災害が起こったとき』など、私たちは、さまざまなシチュエーションで物事を「判断」し、「行動」にうつさなければいけません。『床にごみが落ちている。どうするか？』などもっと細かいことを含めると、人は1日に9000個近くの「判断」をされると言われています。



道徳の時間は、そういった、さまざまな「判断」を迫られる際、よりよい「行動」ができるように、1人1人の「判断」を支える心のありようを考えるためにあります。なにかしらの選択をしなければいけないとき、みなさんはどんなことを大事にして「判断」し、「行動」していますか。何を大事にするのか、どう考えればよいのか、それを、道徳の授業を通して、しっかりと学び、考えてほしいと思います。



そのためにも、授業では、まず自分の考えをしっかりと持つようにしましょう。授業で扱う教材について学ぶ中で、「自分は〇〇だと思う」という、自分自身の考えや思いを大切にしていきましょう。それと同時に、資料の登場人物や作者の思い、クラスメートの考えや意見



に触れる中で、自分の考え(視野)を広げていきましょう。「判断」する際の考え方やその「判断」を支える心のありようは、決して1通りではありません。いろいろな意見や考え方に耳を傾け、その中で自分が大切にしたいことを見つけたいと思います。実りある授業をみんなで作っていきましょう。



~~~~~道徳の感想より~~~~~

○内容項目：希望と勇気

舘野さんが、息子からもらった楽譜の曲を弾いた時、「もう無理だ」とあきらめるのではなく、左手だけでピアノを弾こうとしたのは、ピアノへの情熱を失わず、諦めなかったからだと思います。どんなに困難な状況でも、そこで諦めず、新しい道を見つけた舘野さんはすばらしいと思いました。私はいつもすぐに諦めてしまうことがあるので、諦めずに挑戦し続けていきたいです。



○内容項目：国際理解・国際貢献

今の戦争を早く終わらしたいけれど、私1人の行動ではどうにもならない。でも、今、私ができることは、日常の中のケンカをなくしたり、困っている人を助けたりすることが大切だと思った。それと戦争は絶対にしてはいけないということをみんなが思えたらいいなと思った。



A 主として自分自身に関する事

- 自主、自律、自由と責任・・・自ら考え判断し、行動するとは？
- 節度、節制・・・「ほどほど」ってどれくらい？
- 向上心、個性の伸長・・・自分を高めるとは？個性を伸ばすとは？
- 希望と勇気、克己と強い意志・・・どうして頑張れるのだろうか？
- 真理の探究、創造・・・真実は何？そこから生まれるものは？

B 主として人との関わりに関する事

- 思いやり、感謝・・・助けてもらうと、どんな気持ち？
助けてあげると、どんな気持ち？
- 礼儀・・・礼儀はなぜ必要？
- 友情、信頼・・・友だちだから信じている？
信じているから友だち？
- 相互理解、寛容・・・互いの立場や考えを尊重するには？

C 主として集団や社会の関わりに関する事

- 遵法精神、公德心・・・法やきまりはどうしてあるの？
- 公正、公平、社会正義・・・差別や偏見をなくすには？
- 社会参画、公共の精神・・・社会の一員としてできることは？
- 勤労・・・人は、どうして働くの？
- 家族愛、家庭生活の充実・・・家族ってどんな存在？
- よりよい学校生活・・・集団がまとまるのってむずかしい？
集団生活の充実 みんなが充実した学校生活を送るには？
- 郷土の伝統と文化の尊重・・・郷土には、どんな伝統と文化が
郷土を愛する態度 あるのだろうか？
- 我が国の伝統と文化の尊重・・・日本には、どんな伝統と文化が
国を愛する態度 あるのだろうか？
- 国際理解、国際貢献・・・色々な国のイメージ、本当はどんなところ？

D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事

- 生命の尊さ・・・命を大事にするって？
- 自然愛護・・・自然の環境を守るためには？
- 感動、畏敬の念・・・人間の力を超えたものって？
- よりよく生きる喜び・・・よりよい生き方って何？

《参考資料：日本文教出版「あすを生きる」 ， 光村図書「きみがいちばんひかるとき」》

